

和歌山縣報

第三百八十六號

大正五年七月二十八日
金 曜 日

○縣 令

○和歌山縣令第三二號

和歌山縣度量衡取締規則左ノ通相定ム

大正五年七月二十八日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

和歌山縣度量衡取締規則

第一條 度量衡器ノ第一種取締ハ度量衡器取締官吏ヲシテ執行セシメ市町村長及警察官吏ヲシテ之ヲ補助セシム

前項以外ノ度量衡ニ關スル取締ハ度量衡器取締官吏及警察官吏ヲシテ之ヲ執行セシム

第二條 度量衡ノ取締ニ從事スル官吏取締上必要ト認ムルトキハ度量衡器ノ受檢、修覆若ハ使用停止ヲ命シ又ハ計量上ノ弊害アリト認ムル商品ニ就キ其ノ實量檢査ノ爲指定ノ場所ニ提出ヲ命スルコトヲ得

第三條 取引上若ハ証明上度量衡ノ計量ヲ爲ス場合ハ制規ノ度量衡器ヲ使用スヘシ

前項ノ規定ニ依リ難キ特殊ノ事由アル者ハ其ノ事由、使用セムトスル器物ノ種類名稱及箇數等ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 取引上若ハ証明上度量衡器ヲ使用スル者ハ其ノ業務上必要ナルベキ種類ノ度量衡器ニシテ左記各號ノ一ニ該當スルモノヲ店舗工場其ノ他所引証明ヲ爲スヘキ場所ニ差置キ又ハ行商中携帯スルコトヲ得ス

一 度量衡法第八條各號ノ一ニ該當スルモノ

二 度量衡法施行細則第四十七條及第四十七條ノ二ニ依リ使用ヲ禁止セラレタルモノ

三 外物附著ノ爲計量上ニ差異ヲ生スルニ至リタルモノ

四 用法上度量衡器ニ類似ノモノ

五 桿秤緒紐ノ破損シ正當修復ヲ爲サザルモノ

第五條 度量衡法施行細則第四十八條第一項ニ依リ度量衡器第一種取締執行ノ告示アリタルトキ其ノ取締ヲ受クヘキ度量衡器ノ使用者ハ所持ノ度量衡器全部ヲ指定ノ日時及場所ニ提出スヘシ但シ左記各號ノ器物ハ此ノ限ニ在ラス

一 土地又ハ建物ニ取付ケラレタルモノ

二 一匁以下又ハ秤量ニ於テ其ノ一萬分ノ一以下ノ重量ヲ感スルモノ

三 秤量三百匁若ハ之ニ相當スル重量以上ノモノ

四 玻璃製、陶器製、磁器製若ハ珐瑯塗リニ係ルモノ

五 第一種取締執行ノ都度特ニ其ノ提出除外ヲ指定シタルモノ

第六條 前條第一號乃至第三號ニ該當スル度量衡器ヲ業務上ノ取引若ハ証明ニ使用シ又ハ使用ニ供スル爲所持スル者ハ其ノ器物ノ種類、形狀及用途ヲ具シ知事ニ届出ツヘシ其ノ使用ヲ廢シタルトキ亦同シ

第七條 度量衡器ノ製作者修復者及販賣者ハ其ノ區別ニ從ヒ左記各號ノ措置ヲ爲スヘシ

一 様式第一號ノ營業帳簿ヲ備ヘ常ニ之ヲ整理スヘシ
二 前年四月一日ヨリ其ノ年三月三十一日迄ノ營業統計表ヲ様式第二號ニ依リ作成シ毎年四月十五日限り之ヲ知事ニ報告スヘシ

營業ヲ廢止シ又ハ營業免許ノ消滅シタルトキハ其ノ期間内ニ於ケル營業統計表ヲ前項ニ準シ作成シ免許狀返納ト同時ニ差出スヘシ

三 營業者死亡シ相續人其ノ營業ヲ承繼セサル場合ハ相續人前項ノ手續ヲ爲スヘシ
度量衡器ノ修覆料若ハ販賣價格ヲ定メ知事ニ届出ツヘシ其ノ變更シタルトキ亦同シ

四 右ノ修覆料及販賣價格ハ之ヲ營業所ノ見易キ場所ニ揭示スヘシ
營業者ハ自ラ其ノ業務ニ従事シ得サル場合ニ於ケル代理人ヲ定メ置キ知事ニ届出スヘシ其ノ變更シタルトキ亦同シ

五 販賣器物ハ營業所ノ見易キ場所ニ置キ且日光ノ直射、濕氣、塵埃及溫度ノ劇變ヲ避ケ得ヘキ適當ナル設備ヲ爲スヘシ

第八條 度量衡法施行細則第十條ノ認可ヲ受ケムトスル者ハ其ノ事由、新設若ハ變更セムトスル營業所ノ位置并ニ存置期間及業務擔當人等ヲ其ノ願書ニ記載スルコトヲ要ス

第九條 度量衡法施行細則第十六條ノ認可ヲ受ケムトスル者ハ其ノ願書ニ器物ノ種類、物質、形狀、仕入價格、箇數及處分要項ヲ記載シ事實發生後十五日以内ニ認可ノ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ器物ヲ他ニ讓渡サムトスルトキハ其ノ讓受人ノ同意ヲ表示スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第十條 度量衡法施行細則第二十一條ノ届書ニハ修覆開始ノ年月日、修覆用器具ノ種類、及箇數ヲ記載スルコトヲ要ス

記載スルコトヲ要ス

度量衡器販賣簿

販賣月日	種	類	箇	數	格	累	計	箇	數	格	備	考

桿秤ノ緒紐修復簿

受托月日	秤	量	番	號	取	緒	鍾	糸	釣	別	修	復	料	月	引	日	渡	依	頼	者	住	所	氏	名
					箇	數	箇	數	箇	數														

注意

- 一、度量衡器及衡器ハ別冊又ハ別口ト爲スヘシ
- 二、種類ノ區分ハ左ノ例ニ依ルヘシ

度量衡器 直尺 曲尺 疊尺 卷尺 縮尺 及 鏈尺
 量器 金屬製樹、珪瑯塗リ樹、玻璃製樹、陶條器製樹、木製圓球形樹、木製方形樹、斗、概、化學用量器、瓦斯「メートル」及水量「メートル」

其ノ二

「メートル」數

區分	大	小	別	「メートル」數					
				燈數	燈數	燈數	燈數	燈數	計
大正	年	三	月						
二	日	現在							
前	年	末	現在						
增									
減									

其ノ三

「メートル」ヲ引換又ハ取外シヲ爲シタル數

引換又ハ取外シヲ爲シタル事由別				「メートル」ヲ引換又ハ取外シヲ爲シタル數					
表示量過大ト認メタルモノ				燈數	燈數	燈數	燈數	燈數	計
表示量過小ト認メタルモノ									
指針不動									
漏洩									
不通									
何々									
合計									

○訓令

○和歌山縣訓令第一六號

本縣度量衡取締規則施行手續左ノ通相定ム

大正五年七月二十八日

郡	警察	町
役所	署	役場
	分署	

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

度量衡取締規則施行手續

第一條 警察官吏ハ常ニ其ノ部内ニ於ケル度量衡ノ取締ヲ執行スヘシ

第二條 警察官吏度量衡ニ關スル違反者ヲ告發又ハ處分シ其ノ確定ニ至リタルトキハ様式第一號ニ依リ直ニ知事ニ報告スヘシ

第三條 警察官吏ハ度量衡器第一種取締執行後二十日以内ニ其ノ部内ニ於ケル受檢洩レ其ノ他不正器物ノ有無ヲ調査シ様式第二號ニ依リ直ニ知事ニ報告スヘシ

第四條 警察官吏ハ様式第三號ノ度量衡器取締簿ヲ備ヘ取締執行ノ都度其ノ成績ヲ記入スヘシ

第五條 警察官吏ハ度量衡器第一種取締執行ノ場合其ノ現場ニ立會シ又度量衡器取締官吏第二種取締執行ノ場合其ノ協議ニ依リ協同取締ヲ執行スヘシ

第六條 警察官吏ハ前年度中ニ執行シタル度量衡ニ關スル取締成績ヲ毎年四月二十日限り様式第四

號ニ依リ知事ニ報告スヘシ

第七條 市町村長ハ常ニ其ノ部内ニ於ケル度量衡器ノ使用者ニ對シ度量衡ニ關スル法令ノ趣旨ヲ諭告シ違反者ナカラシムルコトヲ努ムヘシ

第八條 市町村長ハ様式第五號ノ度量衡器使用者名簿ヲ備ヘ常ニ之ヲ整理スヘシ

第九條 市町村長ハ其ノ部内ニ於ケル度量衡器第一種取締執行ノ告示アリタルトキ左ノ各號ノ措置ヲ爲スヘシ

一 前條ノ使用者名簿ニ依リ様式第六號ノ受檢通告書ヲ作り甲號ハ使用者ニ交付シ乙號ハ檢査ノ前日迄ニ之ヲ取纏メ置キ取締官吏ニ差出スヘシ

二 檢査執行ノ際ハ使用者到着ノ順序ニ從ヒ様式第七號ノ受檢傳票ヲ調製シ取締官吏ニ差出スヘシ

三 檢査期日二日以上ニ亘ルトキハ大体其ノ日數ニ應シ區域ヲ定メ通告スヘシ

四 檢査執行上必要ナル諸般ノ設備ヲ爲シ且取締官吏ノ指示ニ從ヒ事務ノ補助ヲ爲スヘシ

第十條 市町村長ハ其ノ部内ニ於ケル度量衡器ノ製作者修覆者若ハ販賣者又ハ其ノ法定代理人ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ直ニ其ノ事實及日時ヲ知事ニ報告スヘシ

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

二 破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルトキ

三 氏名變更死亡若ハ隱居シタルトキ

第十一條 市町村長及警察官吏ハ度量衡器ノ鑑定又ハ度量衡ニ關スル講話ノ爲取締官吏ノ派遣ヲ知事ニ申請スルコトヲ得

附 則

本手續ハ度量衡取締規則施行ノ日ヨリ之ヲ實施ス
明治四十二年十二月本縣訓令第三十八號度量衡器取締規則施行手續ハ本手續施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

様式第一號

度量衡違反者處分報告

違反者 住所職業 氏名年齢	和歌山縣 業郡(市) 町(村)大字 氏 番地 年月日生名
違反ノ 事實	
犯罪物件 及箇數	檢舉者 官氏名
違反 條項	告發 年月日
處罰 條項	確定 年月日
處罰 處罰	犯罪器物 ノ措置
備考	

右及報告候也

年 月 日

度量衡器検査ニ關シ御通告ノ趣承知致候也

年 月 日

市町村大字

職業 何

某 印

市町村長殿

(號 乙)

様式第七號

度量衡器検査傳票

到着番號 業務 (大 市八町名) 字 氏 名

第 號

種

別

受檢 器數 合格 不合格 積

不合格事由

直尺

曲尺

度

